

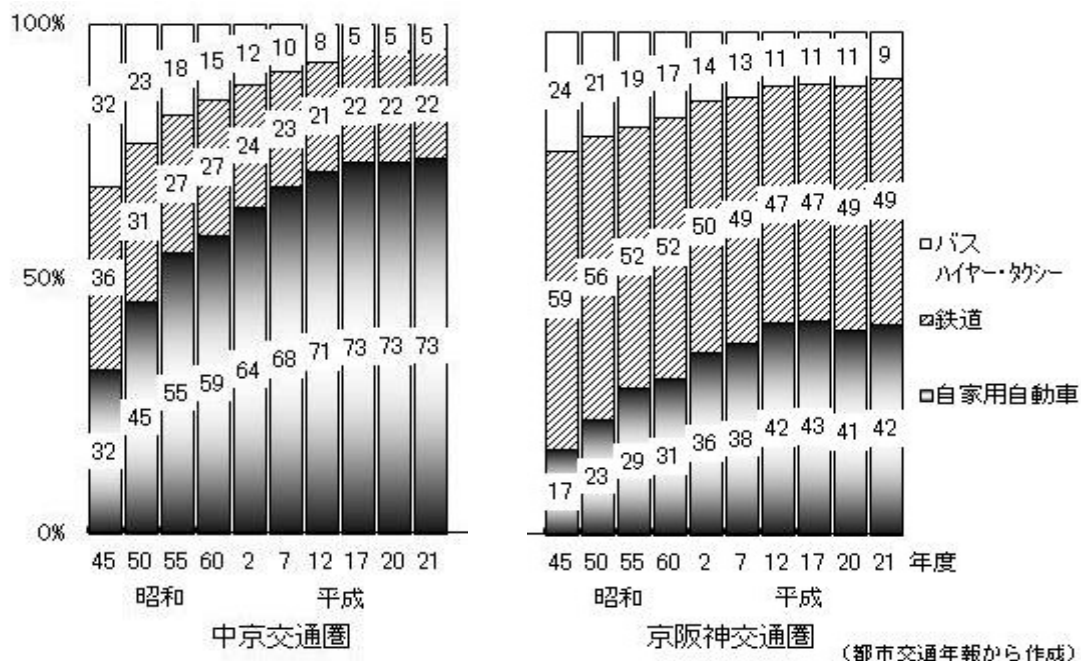
## 交通機関のシェアの関係について ～京阪神圏と名古屋周辺を比べて～

3年4組 72班

### 研究要旨

アンケート調査を実施し、「名古屋市中心部に行く際に、どの交通機関を一番高い頻度で利用するか」ということを調べた。また、都市間移動における交通シェアで名古屋周辺よりも鉄道のシェアが大幅に高い京阪神圏の私鉄運賃を名古屋周辺と比較し、なぜ交通シェアの割合が異なるのか考察を行った。

名古屋周辺と京阪神圏の交通シェア



**キーワード**… 交通手段、料金、都市間移動（輸送）

### 1. はじめに

トヨタ自動車のお膝元である愛知県近郊は、名古屋市の100m道路に代表されるように、車での移動が主とされているが、近年、自動車の排気による大気汚染及び地球温暖化が懸念されている。そこで、環境にやさしい公共交通機関である鉄道の利用状況について着目し、自動車移動が多い我々の鉄道利用状況について知ってもらい、さらに鉄道の利用を促進し、より環境にやさしい暮らしへの一助となるようにと思い、この研究を始めるに至った。

### 2. 研究手法

- a. 名古屋市中心部へ出かける際にどの交通機関を一番利用するかについてのアンケート調査を実施し、どの交通機関がよく使われているのかを把握する。
- b. 名古屋周辺、また比較対象として、交通シェアの鉄道（私鉄）の割合が高い（国土交通省データベースより）京阪神地区の私鉄のターミナル駅から主要駅まで

の運賃と、それに並行する高速道路の通行料金を調べ、名古屋周辺の鉄道と高速道路、京阪神地区の鉄道と高速道路の両者を比較する。

### 3. 研究結果

#### a. アンケート調査の結果

##### 「アンケート全体を通して」

アンケート対象が豊田市民、とりわけ名鉄沿線住民が多かったため、名鉄の利用者の割合が多い結果となった。

また、駅から遠い場所に住んでいる人は、鉄道などの公共交通機関の利用をせず、高速道路や国道 153 号線などを利用して直接車で名古屋市街に向かう人達がとても多かった。

豊田市周辺では J R 線を利用するためには別の鉄道を利用しなくてはならず、その点では豊田市民及びみよし市民などにとっては、J R 線は利用されにくい状況となっている。

##### 「鉄道利用者、また自家用車の利用者の声」

#### 1. 鉄道利用者について

- ・家が駅から近いので便利。(最寄り駅：名鉄三河線、三河八橋駅)
- ・(名鉄) 知立駅での乗り換えが面倒。(最寄り駅：名鉄三河線、上挙母駅)
- ・名鉄豊田線の運賃が高い。(最寄り駅：名鉄豊田線、三好ヶ丘駅)
- ・愛知環状鉄道で IC カードが使えず不便。(最寄り駅：愛知環状鉄道、三河上郷駅)
- ・愛知環状鉄道の運賃が高い。(最寄り駅：愛知環状鉄道、四郷駅)
- ・電車の混雑が嫌だ。(最寄り駅：J R 東海道本線、西岡崎駅)

#### 2. 自家用車の利用者について

- ・家が駅から遠い。(豊田市在住)
- ・乗り換えを考えるとなく直接目的地に向かうことができる。(岡崎市在住)
- ・渋滞などで時間通りに目的地に着かない可能性がある。(みよし市在住)
- ・都市部には駐車場が限られており、不便を感じる。(豊田市在住)
- ・運転に疲れる。(刈谷市在住)
- ・目的地が駅から離れていた場合に、歩くのが嫌だ。(豊田市在住)

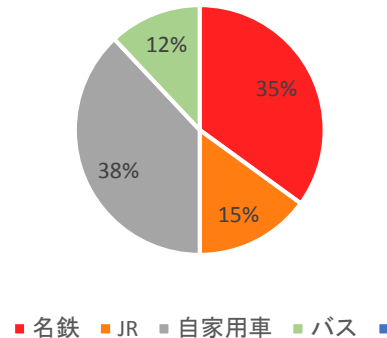
#### b. 名古屋周辺と京阪神圏の鉄道運賃、高速道路通行料金の比較

##### 【ア】 名古屋周辺

##### (1) 名古屋～豊橋間

交通機関	料金	順位	高速道路との差
名鉄名古屋本線 (名鉄名古屋～豊橋)	1110	1	550
JR 東海道本線 (名古屋～豊橋)	1310	2	350
東名高速道路 (名古屋 IC.～豊川 IC.)	1660	3	0

名古屋へ行く際の交通機関



(2)名古屋～岐阜間

交通機関	料金	順位	高速道路との差
名鉄名古屋本線（名鉄名古屋～名鉄岐阜）	550	2	90
JR東海道本線（名古屋～岐阜）	470	1	170
名神・東海北陸道（一宮IC.～岐阜各務原IC.）	640	3	0

(3)名古屋～津間

交通機関	料金	順位	高速道路との差
JR関西本線（名古屋～津）	1230	2	780
近鉄名古屋線（近鉄名古屋～津）	1110	1	900
東名阪・伊勢道（名古屋西IC.～津IC.）	2010	3	0

【イ】京阪神圏

(1)大阪～京都間

交通機関	料金	順位	高速道路との差
JR東海道(京都)線（大阪～京都）	560	3	470
京阪本線（淀屋橋～出町柳）	470	2	560
阪急京都本線（梅田～河原町）	400	1	630
名神高速（吹田IC.～京都南IC.）	1030	4	0

(2)大阪～神戸間

交通機関	料金	順位	高速道路との差
JR東海道・山陽(神戸)線（大阪～三宮）	410	3	520
阪神本線（梅田～三宮）	320	1	610
阪急神戸線（梅田～神戸三宮）	320	1	610
阪神高速道路（梅田IC.～京橋IC.）	930	4	0

(3)大阪～奈良間

交通機関	料金	順位	高速道路との差
JR関西本線（大阪～奈良）	800	2	740
近鉄奈良線（大阪難波～近鉄奈良）	560	1	980
第二阪奈道路（梅田IC.～宝来IC.）	1540	3	0

#### 4. 考察・今後の展望

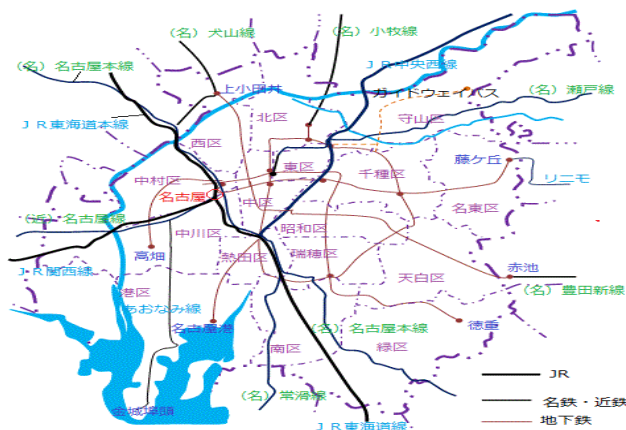
今回調べたすべての区間において、鉄道運賃のほうが安い結果となった。一番高速道路料金と鉄道運賃で差が開いたのは大阪～奈良間で、その額は980円

にも上る。逆に一番差が少ないのは名古屋～岐阜間で、その差は90円であった。また、鉄道運賃についていえば、名古屋～岐阜間を除き、私鉄の運賃はJR線の運賃よりも安い。アンケートの意見にもあったように、自家用車には「目的地に直接向かうことができる」というメリットがある。鉄道を利用する方の中でも特に多かった鉄道のデメリットは、「乗り換えが面倒」という意見だった。鉄道は目的の駅への到着時間の正確さと、大量輸送交通手段であることによる運賃の安さは他の交通手段よりも秀でている面があるが、目的の駅に到着した後は、乗客は徒歩などで目的地へ向かわなくてはならない。この面で自家用車は大きくリードをとっている。

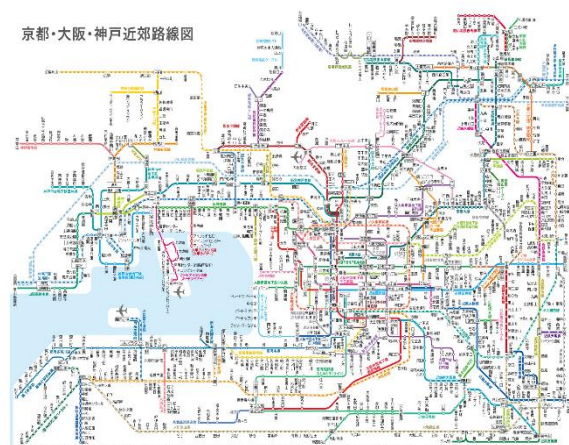
また、鉄道の運賃設定については、同程度の距離（名古屋～津：近鉄、名古屋～豊橋：名鉄、難波～和歌山市：南海）で比べると、京阪神地区に属する南海電鉄のほうが運賃は安かった。このように、京阪神圏の私鉄の運賃は名古屋周辺の私鉄より安い。また、京阪神圏の私鉄の運賃が比較的安い理由として、名古屋周辺より鉄道利用のシェアが高く、収入を、運賃を上げることによって賄う必要がないことや、大手私鉄では百貨店や様々な商業施設・レジャーランドなどを沿線で運営し、そういった施設と鉄道路線の双方で収入を得ているために運賃の値上げの必要がないということがある。

また、京阪神地区と名古屋周辺地区の交通機関利用者数のシェアにおいて京阪神圏の鉄道利用者が多い理由の一つとして、鉄道ネットワークの充実が挙げられる。京阪神地区は、JRの「アーバンネットワーク」を始めとした交通網を構築して、利便性の向上などに努めてきた。名古屋周辺に比べ京阪神地区は、鉄道路線が網のように広がり、目的地へ徒歩で向かうなどする距離が名古屋周辺よりも短くなっている。

名古屋周辺および京阪神圏の鉄道網の比較



名古屋周辺



京阪神圏

## 5. 最後に

調査の結果から、ここ名古屋周辺地区では、実際に自家用車を出かける際に使用する人は多い。しかし、鉄道は大量輸送交通機関で、また電気を動力源としているため、乗客一人を運ぶのに排出する二酸化炭素の量が自家用車と比べると非常に少なく、地球温暖化など、環境に影響を与えにくい交通機関として注目を集め始めている。運賃や所要時間、利便性のみにとられるのではなく、環境面などのあらゆる側面からの視点で交通機関を選択することが大切

だ。

今後は、リニア中央新幹線が2027年に品川～名古屋間、2036年に品川～大阪間が全通する予定であることから、東京・名古屋・大阪の日本三大都市により密接な関係が築かれることとなる。リニア中央新幹線が開業すれば、この三都市の鉄道利用者は増加することだろう。名古屋周辺では現在、名古屋駅前再開発計画や名鉄三河線豊田市方面に名古屋からの直通特急を走らせるための運動など、利用者増加やサービス、利便性の向上に向けて様々な動きが始まっており、リニア開業に伴う新たな事業やサービスなども現れるだろう。公共交通、輸送機関というのは日本のさらなる経済発展、観光客誘致などに威力を発揮する。今後とも新しく発表される情報にアンテナを張り、動向を見守っていききたい。

#### <参考文献>

名鉄120年 近20年の歩み（名古屋鉄道社内誌）

鉄道ピクトリアル1月号 臨時増刊号（電気車研究会）

国土交通省輸送技術研究部

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kousei/suuji/index.htm> 全体の参考データ

#### <画像>

<http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000010478.html>

↑京阪神圏と中京圏の交通シェアのグラフとして引用

<http://nanamas.my.coocan.jp/nana27ag020.html>

↑鉄道網の画像として引用